

JOCV 千葉 OB 会報

2011 春
2011年3月
No.83

JOCV 千葉 OB 会

■ホームページ: <http://www.jocvchiba.net> ■発行責任者: 玉城 均 (青年海外協力隊千葉 OB 会広報)

1. 巻頭言・挨拶

千葉 OB 会の皆様へ

数年前より夏と冬の年 2 回、会報を発行してまいりましたが、今年度は準備に手間取り春号になってしまいました。発行が遅れました事をお詫び致します。

さて、去る 2 月 20 日に浦安市国際センターで帰国隊員報告会「聞こう話そう協力隊」を開催しました。詳細は行事報告で紹介させていただきますが、収容人数 40 名程の会場に、参加者は 15 名程で半数は OB 会関係者、一般参加者は 7 名、非常に寂しい帰国報告会でした。現在の OB 会活動に参加している数名の力では、準備・広報活動・運営をするのが精一杯という状況です。

今年度発行した会報・夏号は 1000 名を超える千葉県出身の協力隊経験者の方へ送付しております。この春号は会費納入をされた 100 名程の方に送付しております。より多くの OB の方に参加して頂けるにはどうしたらいいか、帰国間もない若い世代の方に参加して頂けるにはどうしたらいいか、役員一同で考えて活動を行いたいと考えておりますが、定例の行事を消化するのみままならない状況が続いております。

派遣中隊員や帰国直後隊員と地域の協力隊経験者を結びつける役割を担う OB 会を活性化する為にも、これからも皆様のご協力・ご参加をお願い致します。

広報・会計担当 玉城 均 (9-3 マレーシア(東) 造園)

目 次

1. 巻頭言・挨拶
2. 千葉県 JICA ボランティア家族連絡会
3. グローバルフェスタ JAPAN 2010
4. JICA ボランティア秋募集説明会
5. JICA 国際協力エッセイコンテスト 2010
6. グローバルフェスタ Chiba
7. 聞こう話そう協力隊 ～帰国隊員報告会～
8. 社行会・県庁表敬訪問
9. JICA 千葉デスク活動報告・今後の予定

2. 千葉県JICAボランティア家族連絡会

千葉県から JICA ボランティアとして派遣されている御家族を招いての千葉県 JICA ボランティア家族連絡会が 9 月 12 日に行われ、JOCV 千葉 OB 会も、千葉県 JICA シニアボランティアの会とともに共催団体として会場の設営や受付などの運営に協力しました。

今年も、ボランティア事業や帰国後の進路についての説明や、(社)協力隊を育てる会より視察の旅などの説明の後、帰国隊員の活動報告と、地域別懇談会(ボランティアのご家族の方々と OB/OG との懇談)がありました。

帰国隊員の活動報告はシニアボランティアの OV と青年海外協力隊の OV が一名ずつ発表を行いました。青年海外協力隊は、帰国隊員の代表として山口梨里さん(20-1, スリランカ, 幼児教育)が、活動の発表を行いました。最近の隊員の方々は、自らの活動をしっかりと記録、整理し、プレゼンテーションも上手く、要点を押さえたとても中身の濃い発表をされるな、という印象を持ちました。

地域別懇談会では、今年の家族連絡会に参加されて「まだ赴任したばかりで・・・」と話されていたお母様から、「前はどうぞお世話になりました。実は息子の任地に行ってきました。」と写真を見せていただいたりして、ご家族の方にはこの懇談の場が意義深いものなのだと確認できうれしかったです。

(報告者:高庄)

3. グローバルフェスタ JAPAN 2010

10月6日の「国際協力の日」を記念して1990年より開催されてきたグローバルフェスタ JAPAN。今年度は20周年を迎え、10月2日・3日に日比谷公園で開催されました。今年のテーマは「MDGs、それは“私たちの約束”」。援助関連政府機関・公益法人、国際機関、大使館、青年海外協力隊関連団体、NGO団体関連など287団体が参加し、2日間で10万5千人の方がご来場されました。千葉OB会も例年どおりこのフェスタに参加し、フェアトレード商品の販売などを行ないました。

※MDGs=Millennium Development Goals(ミレニアム開発目標)。その一つとして、2015年までに世界の貧困を半減することを挙げている。



今年度は2009年度に販売したコロンビア産カーネーションなどの『切り花』に代わり、コスタリカの無農薬有機栽培コーヒー「ぷらびだ村 Coffee」を紹介しました。この「ぷらびだ村 Coffee プロジェクト」とは、不登校・ひきこもり・発達障がい等の若者および家族支援のボランティアグループ「アトリエ・ゆう」による、若者の社会参加および草の根国際交流を目的とした活動です。現地の農業組合からコーヒーの生豆を直輸入するので、代金は直接生産者の手に渡ります。また、日本での販売に関する作業は、「アトリエ・ゆう」に参加する若者やその家族、地域のボランティアの方々のご協力によって行われています。

コスタリカのコーヒーは100%アラビカ種のみで栽培されています。一粒一粒手で収穫するため、割高であっても有機無農薬栽培であることが人にも自然にも重要なのです。会場では試飲販売を行い、たくさんの方にその香りと、雑味のないクリアな味わいを楽しんでいただきました。

また、2008年から行なっているスリランカのクラフト品の紹介・販売を、今年も引き続き行ないました。スリランカ及び日本国内で活動しているNPO「APCAS」による商品で、麻や綿素材を活かした小物、バナナの葉や古紙などを利用したエコロジカルペーパーのノートなど、スリランカの方々と商品開発を進めているものです。多くの売上げは上げられませんでした。少しでもフェアトレード商品として定着できるよう協力していければと思います。

その他にも、当初から続けている海外の古切手販売を行ないました。郵便からメールへと通信手段が移行し、古切手はなかなか集められなくなりました。しかし、このフェスタでは時間をかけて古切手を選び購入してくださる方がたくさんいらっしゃいます。また、古切手を提供してくださる方もいらっしゃり、小規模ながら継続してきた結果として、売上げを小さなハートプロジェクトなどに寄付してきました。

(報告者:早川)

4. JICAボランティア秋募集説明会

平成22年度秋募集の千葉県内説明会が、船橋(10/8)、海浜幕張(10/11)、柏(10/14)、の3会場で行われ、会場スタッフや体験談に県内の協力隊OBが多数参加しました。今回は教職隊員による模擬授業のコーナーを別室に設けるなど、より実感が持てる企画を実施しました。そのせいか来場者の減少傾向が続く近年において、幕張会場では最高記録に近い人数を達成しました。家族で来場される方も多かったです。これからもたくさんの方々に興味を持って頂けるような魅力のある説明会を作っていきたいです。

(報告者: 崎山)

5. JICA国際協力エッセイコンテスト2010

今年も JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストが実施されました。募集テーマは「行動～地球の仲間のために、私たちができること～」友達との会話や学校の授業、本や新聞、テレビを通して感じたこと、自分自身の体験から知ったことなど、自由な題材であなただけの想いを伝えてくださいというものです。

千葉OB会では例年中学生の部の1次審査をしています。9月下旬には自宅審査として一人当たり約150作品の中から1割ほどを選出し、10月24日の集合審査で更に厳選し、最終的に10作品が千葉県代表として2次審査にかけられることになりました。

集合審査は森会長をはじめ高庄事務局長、安藤さん、藤田さん、田村さんなど常連の皆様、早村さんや早川など比較的新しいメンバーに加え、今年度は新たに協力隊OB以外の一般の方にも2名ご参加いただいたの実施となりました。中学生が持つ国際協力のイメージと私たちが持つイメージのギャップに気がついたり、多くの中学生が海外体験について記述していて驚かされたりと、応募作品を読ませていただくことで、新鮮な発見をたくさん得ることができました。

12月下旬には最終審査結果が発表され、全国から応募があった47,081点のうち、千葉県からは6作品が佳作に入賞、4作品が青年海外協力隊千葉OB会会長賞となりました。エッセイコンテストの受賞者には副賞が授与されますが、今年度の副賞に、千葉OB会を通して、NPO「APC AS」(スリランカ)の布製ブックカバーが採用されました。シンハラ語の文字がプリントされたデザインで、それぞれのブックカバーにプリントされた文字の発音が分かるよう一覧表も添えました。

エッセイコンテストの審査は非常に難しく、多くが学校ごとの応募で、そのほとんどがビデオ学習などの感想文です。非常に似通った内容が多く、その中からキラリ光る作品を見いだすのは至難の業となっています。今年度も苦勞しながらなんとか1次審査通過作品を選出したものの、入賞は佳作のみという残念な結果となってしまいました。千葉県は他県よりも応募作品数が比較的多いので、ぜひ今後の健闘を期待したいところです。

昨今、数々のエッセイコンテストで、インターネットからの盗作などのニュースが相次いでいますが、今後ますます審査が難しくなることが予想されます。ぜひ一人でも多くのOBのみなさんにご協力いただき、多くの目で審査することによって少しでも個性的な作品を見だし、千葉県から優秀な作品を送り出していきたいと思っております。

(報告者: 早川)



6. グローバルフェスタ Chiba

2011年2月6日(日)、千葉大学けやき会館等において、「グローバルフェスタ Chiba」が開催されました。(財)ちば国際コンベンションビューロー、(独)国際協力機構(JICA)、(財)日本ユニセフ協会千葉県支部との共催によるもので、26団体がブース出展し、フェアトレード品の販売や演奏・舞踊の発表などを行いました。また、講演会や各



団体の活動紹介なども行われました。このフェスタは今年度が4回目となり、例年どおり千葉OB会も参加しました。

グローバルフェスタ JAPAN から引き続き、NPO「APCAS」による麻・綿製品やバナナペーパー製品を紹介・販売しました。前述したエッセイコンテストの副賞に選ばれたブックカバーが、カラフルな色合いとシンハラ文字のロゴが来場者の目に留まり、上々の売り上げでした。

(報告者:田村)

7. 聞こう話そう協力隊 ～帰国隊員報告会～

千葉OB会では、「聞こう話そう協力隊」と銘打って、帰国隊員報告会を行っています。

2011(平成23)年2月20日(日) 14:30～16:00 浦安市国際センターにて、石井紗絵さん(H19-4 トンガ 養護)、亀井雄太さん(H20-3 モンゴル バスケットボール)のお二人をお迎えして開催しました。

■H19-4 トンガ王国 養護 石井 紗絵さん (現職参加)

クイズを交えながらのトンガ王国紹介から始まり、隊員活動の報告をしていただきました。

理学療法士を期待していた任地スタッフと音楽療法士である石井さん。不安をかかえながらスタートした隊員活動でしたが、任地の障害児教育センターでは、障害児への教育だけでなく、スタッフに対してパソコンの指導をしたり、パラリンピック委員会にも参加されたり、幅広い活動をされた様子が紹介されました。任期中は、体調不良が続いていたということでしたが、「子ども達やスタッフと同じタイミングで笑いたい！」という思いから日常使われているトンガ語を学ぶなど、意欲的に活動されていた様子が伝わってくる報告でした。

■H20-3 モンゴル バスケットボール 亀井 雄太さん

モンゴルの美しい画像と共にモンゴルの生活と隊員活動を楽しく報告していただきました。

国立体育大学での活動は、技術移転というより時間を守ろうなどの生活習慣の指導から始めなくてはなりませんでした。また、生徒やスタッフにも地道に伝わり、亀井さんが伝えたことを授業に組み込んでくれるまでになりました。また、バスケの指導だけでなく、人と人のつながりを大切に思い、日本語を学習している学生達と隊員仲間を集めた交流会を開き、架け橋となるなど技術移転だけにこだわらない、人脈づくりの活動もされていたそうです。



■質疑応答、フリーディスカッション

任地の民族衣装を着こなしながら隊員活動報告をしてくださったお二人から、民族衣装についての紹介がありました。トンガのプレタハとキエキエ、モンゴルのフレムとデル。参加者も身に付けさせていただき、即席試着会になりました。

そして、これから参加しようと思っている方々へ、参加しようとする時、無理せず行けるタイミングを待つことやあきらめずに努力し続けること、人脈づくりが大切だというメッセージをいただきました。

(報告者:鈴木)



■アンケート結果

◇ 今後の取り組みのために、みなさまの率直なご意見、ご感想をお聞かせください。

- ・体験談は、お二人とも興味ある内容であり、説明が具体的で上手だった。[60代・男性]
- ・自らの経験をポジティブに受け止めて、好感が持てた。[60代・男性]
- ・貴重なお話をお聞きできてとても良かったです。以前、千葉大でのイベントの際、協力隊志望されている学生さんに出会いました。本日、協力隊を志望されている方があまり見られなかったのが、是非、大学や一般等への広報がなされればもっと良いのではないかと思います。[20代・女性]
- ・良かったと思います。上手だったと思います。[30代・男性]
- ・とても興味深い内容でおもしろかったです。また、来場してから気づいたのですが、協力隊ナビも行なっていたんですね。今回のような機会をもっと広報されれば、もっとたくさんの方がお見えになるのではないのでしょうか。準備、企画等お疲れ様でした。良いお話が聞けて感謝しております。[30代・女性]
- ・経験を発表することは大変良いことと思います。[60代・男性]
- ・外国のことを知るのとはどんなことでも役に立つ。日本の若者がこのように外に出ることはすばらしい。[60代・男性]

◇ この催しをどのようにして知りましたか？

メーリングリスト、インターネット、OB会ホームページ、千葉県国際協力フォーラムにて、協力隊OBを通して、ブログ、浦安国際センターからのメール

◇ その他、開催してほしい催しなど、ご自由にお書きください。

- ・帰国報告会により、多くの帰国隊員の話を知りたい。[60代・男性]
- ・次回、協力隊ナビがあればお伺いしたいです。[30代・女性]
- ・もっとみんなに知らせて多くの人に聞いてほしい。[60代・男性]

8. 壮行会・県庁表敬訪問

OB会では新隊員の赴任前に壮行会と県庁表敬訪問同行を行っています。



◇平成22年度1次隊
平成22年6月18日

◇平成 22 年度 2 次隊
平成 22 年 9 月 16 日



◇平成 22 年度 3 次隊
平成 22 年 12 月 17 日



9. JICA千葉デスク活動報告・今後の予定

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2010 結果発表

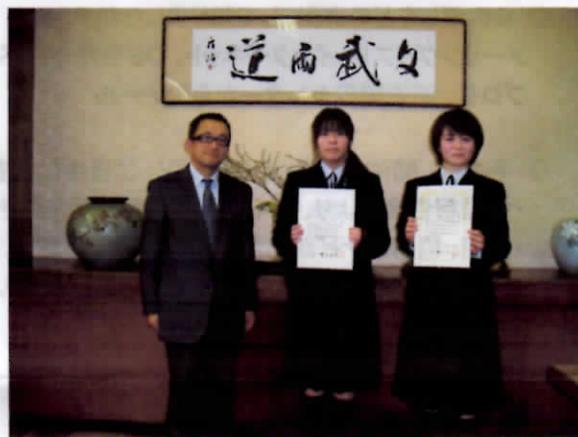
毎年千葉県青年海外協力隊 OB 会の皆さんに審査をお願いしている JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストが今年も開催されました。今年のテーマは「行動～地球の仲間のために、私たちができること」。非常に難しいテーマにも関わらず、全国から中学生の部が 47,081 点、高校生の部は 24,234 点、合わせて 71,315 点もの応募がありました。

次の世代を担う全国の中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、また自分ひとりひとりがどうすべきかについて考えてもらうことを目的として実施されていて、今年度で中学生の部は 15 回、高校生の部は 49 回を数える歴史あるエッセイコンテストです。

今年高校生の部では JICA 地球ひろば所長賞を千葉県立八千代高校の山本真知子さんが受賞され、その他県内の中学・高校から 16 の個人賞、そして 11 の学校賞が受賞されました。身近なところから自分にできそうなことや既にやっていることなどを具体的に取り上げながら、作文にした作品が多かったようです。

また、先日、私は県立八千代高校と芝浦工業大学柏中学・高等学校に表彰に行かせていただいたのですが、受賞者の学生の皆さんとお話することができ、皆さん賞状と副賞のフェアトレード商品を喜んでくれたようです。

これを機会に世界の現状や日本と世界とのつながりなどについて更に学んでいただければ大変嬉しく思います。



県立八千代高校にて。左から JICA 地球ひろば副所長 山本愛一郎氏、片山美帆さん、山本真知子さん

【高校生の部】(順不同)

JICA 地球ひろば所長賞

県立八千代高等学校 山本 真知子さん(3 年)「笑顔～地球の仲間へ～」

佳作

県立八千代高等学校 片山 美帆さん(3 年)「壁を越えて」

芝浦工業大学柏高等学校 岩下 沙紀さん(2 年)「認め合い理解しあうということ」

青年海外協力隊 OB 会会長賞

芝浦工業大学柏高等学校 秋葉 祐里さん(2 年)「協力することの必要性」

西武台千葉高等学校 染谷 大樹さん(2 年)「(無題)」

西武台千葉高等学校 中川 佑一さん(1 年)「今の自分にできること」

西武台千葉高等学校 林 沙耶さん(1 年)「何ができるか」

【中学生の部】

佳作

筑波大学付属駒場中学校 関 大介さん(3年)「核のない平和な世界のために」
 我孫子市立久寺家中学校 川村 瑞穂さん(3年)「マイ箸をしよう」
 柏市立高柳中学校 伊藤 雅記さん(2年)「地元のボランティア活動について」
 松戸市立古ヶ崎中学校 久保 優衣さん(2年)「支え合い」
 浦安市明海中学校 大塚 智哉さん(2年)「恵まれない子供と恵まれた自分」
 茂原市立西陵中学校 中野 綾香さん(2年)「ランドセルは海を越えて」

青年海外協力隊 OB 会会長賞

芝浦工業大学柏中学校 岩佐 咲さん(2年)「日本の中の難民」
 芝浦工業大学柏中学校 石鍋 光則さん(2年)「安全な食を世界に届けたい」
 千葉国際中学校 対馬 大将さん(1年)「行動～地球の仲間のために、私たちができること」
 柏市立柏第4中学校 清水 一郎さん(3年)「今から少しずつ」

【特別学校賞】

芝浦工業大学柏中学校

【学校賞】

西武台千葉高等学校	麗澤中学校
芝浦工業大学柏高等学校	我孫子市立久寺家中学校
西武台中学校	専修大学松戸中学校
柏市立富勢中学校	松戸市立第一中学校
柏市立高柳中学校	浦安市立明海中学校

H23年度 JICA ボランティア春募集について (H23年3月24日現在)

H23年4月1日(金)より予定しておりました平成23年度 JICA ボランティア春募集の応募受付については、当面延期致します。今後の予定につきましては、決定次第改めてお知らせいたしますので、最新の情報を下記 JICA ボランティアウェブサイトでご確認ください。

尚、これに伴い、3月26日から順次、全国で予定しておりました「体験談&説明会」につきましては中止することと致しました。直前の中止決定となり、誠に恐縮ですが、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

JICA ボランティアウェブサイト : <http://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

その他、何かご不明な点等ありましたらお気軽にご連絡ください。

JICA 千葉デスク 明石絵里子
 (財)ちばコンベンションビューロー 千葉県国際交流センター内
 千葉市美浜区中瀬2-6WBG マリブイースト14階
 TEL 043-297-0245 FAX 043-297-2753

お知らせ

各種行事の日程についてはメールとホームページで案内しています。メールアドレスをご連絡いただければ、定期的に行事案内をメールで送信しますので、以下のOB会連絡用メールアドレス(JOCV千葉OB会ホームページに記載)までご連絡下さい。また、ご質問・ご要望などお気軽に同アドレスまでお寄せ下さい。

JOCV千葉OB会ホームページ : <http://www.jocvchiba.net/>

OB会連絡用メールアドレス : info@jocvchiba.net

JOCV 千葉 OB 会 <http://www.jocvchiba.net/>